

ORACLE

エンタープライズ・ワークロードを Oracle Cloudに移行

—
移行の大幅な簡素化によるコスト削減



OCIによるクラウド移行の目標達成

組織は、ますますワークロードをクラウドに移行し、データセンターの需要を減らしています。2028年までに、ワークロードの70%がクラウド・コンピューティング環境で実行されることが推定されています。¹クラウド移行を推進する一般的な目標としては、TCOコスト（総所有コスト）の削減、スタッフおよびビジネス・プロセス全体にわたる効率化、新たなサービスの迅速な提供が挙げられます。

[IDCの最近の調査](#)では、Oracle Cloud Infrastructure（OCI）にワークロードを移行した組織は、コスト削減、ビジネス・アジリティ、移行効率の目標を達成していることが明らかになりました。

概してOCIをご利用のお客様から以下の報告が寄せられています

53%

新しいカスタマー・エクスペリエンスやサービスの提供といった革新的な業務に費やす時間の増加

48%

TCOコスト（総所有コスト）の削減

45%

ITインフラストラクチャ・チームの効率化

調査にご回答いただいたお客様は、さまざまなワークロードをOCIに移行し、ITチーム全体にわたる大幅な効率の向上に加えて、コスト削減とビジネス・アジリティ向上を実現する柔軟性を実感しています。

ワークロードの再構築なしにコスト削減とアジリティ向上を実現

- 現在の投資を維持し、OCIのインフラストラクチャでオープンソースおよびサードパーティ・ソフトウェアを実行して、オーバーヘッドを削減し、Oracle Cloud VMware Solutionを使用してVMwareツールとスキルへの投資を保護します。
- OCIは、最小限のリプラットフォームまたはリプラットフォームなしでアプリケーションを移行し、特定のレイヤーをマネージド・サービスに簡単に移行させることができるように設計されています。
- 従量制課金：クラウド支出を最適化しながら、ワークロード要件に合わせてインフラストラクチャを構成します。

迅速かつ低リスクなクラウド移行

クラウド移行における一般的な課題への対応

多くの組織にとって、エンタープライズ・ワークロードを移行することは大きなリスクを伴う可能性があり、またそれはオンプレミス・アプリケーションとの統合や企業固有のワークフローに限った話ではありません。



OCIはエンタープライズ・ワークロードのニーズに応じるよう設計されている

クラウド移行の主な課題は次のとおりです。

- **レガシー・システムとの互換性**：古いアプリケーションはクラウド・プロバイダーのサービスとシームレスに統合できず、調整や再構築が必要になる場合があります。
- **柔軟性の制限**：一部のクラウド・プラットフォームへの移行により、マルチクラウド・アーキテクチャを構築する機能が制限される可能性があります。
- **移行コスト**：クラウド・インフラストラクチャは長期的には支出を削減することができますが、初期移行費用は足かせになる可能性があります。
- **スキル・ギャップ**：組織では、クラウド移行を効果的に計画および管理するための技術的な専門知識が不足している可能性があります。

OCIによるパフォーマンスの向上、TCOの削減、シンプルな移行

パフォーマンスの影響を受けるエンタープライズ・アプリケーションは、スケールアップ・アーキテクチャ上で最適に実行されるように設計されており、超低レイテンシ・ネットワーク、リレーショナル・データベースへの永続的な接続、可用性のためのリソースのクラスタリングが必要です。OCIは、カスタム、サードパーティ、オープンソース、SaaSの独立系ソフトウェア・ベンダー（ISV）アプリケーションおよびVMware環境を含む、あらゆるワークロードを強化するこうした機能を提供しています。OCIサービスは、独自のコスト削減とサポート・プログラムを組み合わせることで、組織があらゆるワークロードを移行し、CapExコスト（設備投資費用）を削減する一方で、パフォーマンスとセキュリティの強化を実現できるよう支援します。





コストの増加なしにパフォーマンスを向上

- 帯域幅の利用にかかるコストは80%削減されます。
- ブロック・ストレージにかかるコストは70%削減されます。
- コンピュートとKubernetesは、他のクラウド・サービスプロバイダーの料金よりも50%低コストです。

[詳細については、OCI Pricingをご覧ください](#)



最小限の変更で移行が可能

- リプラットフォームの必要なく、既存のソフトウェアを導入し、コストパフォーマンスを向上させます。
- 高速のWAN相互接続により、既存の環境と接続しなおします。
- 幅広い高パフォーマンスのベアメタル・インスタンス、または柔軟なベアメタル・インスタンスおよびKubernetesを活用します。



テクノロジーへの投資とスキルの維持

- Oracle Cloud VMwareソリューションで、現在使用中のVMwareのスキル、プロセス、および自動化を活用します。
- 優れたインフラストラクチャ上でオープンソースおよびサードパーティのワークロードを実行します。
- オープンソースのマネージド・サービスを利用して、オーバーヘッドを削減します。

柔軟な移行シナリオ

ビジネスクリティカルなワークロードを確実に移行

OCIは、クラウドへの移行を簡素化する主要なテクノロジーを提供しています。たとえば、できるだけ変更を加えずにワークロードを移動することもできます。この「リフトアンドシフト」アプローチは、パフォーマンスの向上と設備投資コストの削減というメリットを提供しながらも、予期せぬ動作が発生する可能性を低減します。

また、ワークロードの移動に合わせてクラウドネイティブなサービスやマネージド・サービスを導入することもできます。たとえば、OCI Kubernetesエンジンを使用することで、既存のアプリケーション・コードを活用する一方で、より耐障害性の高いスケーラブルなインフラストラクチャを構築できます。

どのようなアプローチを選択する場合でも、オラクルのクラウド・エキスパートが、クラウド・サービス契約の一環として、アーキテクチャから本番稼働までのガイダンスを用いて迅速に移行できるよう支援します。



カスタムおよびオープンソース・ワークロード

ワークロードをそのまま移行し、専用のベアメタル・サーバーまたは柔軟なVMで実行します。または、OCI Kubernetes Engineなどのクラウド・マネージド・サービスを活用して、リソース集約的なワークロードをより簡単に導入および管理します。



VMware環境

オラクルは、仮想マシンが実行される場所に関係なく、お客様が一貫したVMwareエクスペリエンスを確実に利用できるよう支援します。Oracle Cloud VMware Solutionはオンプレミスと同様に運用できるため、再設計が必要なものではありません。既存環境で使用しているツール、スキル、および機能をそのまま使用できます。



SaaS ISVアプリケーション

ISVは、ビジネス・ニーズに最適なSaaSアーキテクチャへの移行が可能な柔軟性を備えています。ワークロードはそのまま移行することも、最適化されたクラウド・インフラストラクチャで実行することもできます。また、Oracle Autonomous Database、HeatWave、OCI Kubernetes Engineなどのマネージド・サービスを導入したり、アプリケーションをマイクロサービスやマネージド・クラウドネイティブ・サービスに書き換えることも可能です。

エンタープライズ・ワークロードのOCIへの移行 におけるお客様の成功事例

カスタム・アプリケーション: Uber、OCIを使用して1時間あたり100万回以上の移動を支援

Uberは、人、食べ物、モノが都市中を移動する方法を革新することをミッションとしています。Uberがこの顧客への目標を実現すると同時に株主価値も高めるためには、イノベーションを最大化しながらインフラストラクチャのコストを削減できるクラウド・プロバイダーが必要でした。Uberは、セキュリティ、パフォーマンス、柔軟性、および価格を評価してOCIを選択しました。

同社の最も重要なワークロードの一部をOCIに移行することで、Uberは新しいカスタマー・エクスペリエンスと配達員エクスペリエンスを提供する一方で、コストを削減することができます。



Uber

「オラクルは、価格、パフォーマンス、柔軟性、セキュリティの理想的な組み合わせを提供してくれます。これにより、当社では素晴らしい顧客サービスを提供し、新製品を構築し、収益性を向上することができます」

Dara Khosrowshahi氏
Uber、CEO

[詳細](#)

VMware環境：TIMブラジル、OCIとAzure上での実行により5,000万人にサービスを提供

TIM Brasilは、ブラジルの5,000万人以上の市民に高速のモバイルおよびブロードバンド・サービスを提供する通信会社です。同社は、OCIとAzureの両方を最大限に活用するために、Oracle Interconnect for Microsoft Azureを選択しました。この相互接続により、TIM Brasilは、Oracle Exadata Database Service、Oracle Enterprise Database Service、Oracle Cloud VMware Solutionで重要なワークロードを実行し、AzureでSAP HANAと仮想デスクトップ・インフラストラクチャのワークロードを実行することができます。

重要なSiebel CRMワークロードのOCIへの移行後、カスタマーサービスの問い合わせ処理にかかる要件は平均50%短縮、一部の分野では最大65%短縮されました。クラウド移行は、効果と集中の向上に加え、顧客データをより適切に保護し、ビジネスの耐障害性を高める、よりセキュアな環境を実現しました。



「重要なCRMワークロードをOCIに移行したことで、完全な成功を収め、ビジネス上の優位性を得ることができました。また、カスタマー・サービスにかかる時間が短縮され、販売プロセスがスピードアップしました。このような利点から得られた利益を再投資して、より多くのイノベーションを創出し、需要に迅速に対応できるようにになりました。」

Auana Mattar氏
TIM Brasil、CIO

[詳細](#)

SaaS ISVアプリケーション:GoTo、OCIでリモート・ワークの可能性を拡大

リモート・ワーク・テクノロジーの世界的リーダーであるGoToは、中断のない運用、セキュリティ、最適なパフォーマンスを確保しながら、オンデマンドで柔軟にデータセンターをスケールすることを目指しました。コアとなる動画テクノロジーと他のサービスをOCIに移行することで、同社はユーザーのパフォーマンスを向上させ、セキュリティを強化し、容量需要の変化に対応できる効率の高い拡張を実現しました。現在、GoToは自社製品の70%のサポートにOCIを使用しています。

パンデミック時の要求の高まりにもかかわらず、OCIとAWSクラウド・サービスを使用したGoToのマルチクラウド戦略は、同社の重要なワークロードの耐障害性を強化しました。同社はフォルト・トレランスを強化する一方で、ID・アクセス管理に一般的なセキュリティ・モデルを用いることで、より強固な保護の提供を支援しました。また、OCIのグローバル・クラウド・リージョンにより、GoToは異なる地域の顧客の近くにクラウド・リソースを導入し、高パフォーマンスで低レイテンシなコミュニケーションを実現します。

OCIの導入により、インフラストラクチャ・コストは平均50%削減されており、特定のクラウド・サービスではさらに高い削減効果が得られています。さらに、GoToの強化されたリモート・ワーク環境により、顧客の成功に重点を置く企業にとって必須事項である顧客満足度が向上しました。

The GoTo logo consists of the word "GoTo" in a bold, black, sans-serif font. The "o" in "Go" is stylized with a yellow underline that extends to the right.

「当社とオラクルの間に、イノベーションへのコミットメントと顧客の成功へのコミットメントという共通のビジョンがあることを高く評価しています。当社が手掛けるあらゆる業務において、スピード、品質、そして大規模な対応が重要です。また、顧客のために、そして実際の問題を解決するために、そうしたことに取り組んでいます。ですから、このパートナーシップは当社にとって非常に重要です。」

Olga Lagunova氏

GoTo、製品およびテクノロジー担当最高責任者

[詳細](#)

OCIでクラウド移行の目標を達成

ワークロードをOCIに移行すれば、最初に再構築することなくクラウドのメリットを実感できます。OCIは、移行を劇的に簡素化する技術的な柔軟性と、大幅なコスト削減とビジネス・アジリティを実現する商業的な柔軟性を兼ね備えています。

総所有コストを削減し、アジリティとパフォーマンスを向上させ、より簡単なエンタープライズ・ワークロードのクラウド移行をサポートします。

今すぐ始めてみませんか

オラクルへのお問い合わせ

050-3615-0035にお電話いただくか、oracle.com/jpにアクセスしてください

北米以外の地域では、oracle.com/jp/contactで最寄りのオフィスをお探しく下さい

¹ [\[Gartner IT Infrastructure, Operations & Cloud Strategies Conference 2023 London: Day 1 Highlights\]](#) 2023年11月20日。